

景況 レポート

11月分

情報連絡員 79名

業界全体のDI値は マイナス67.1に後退

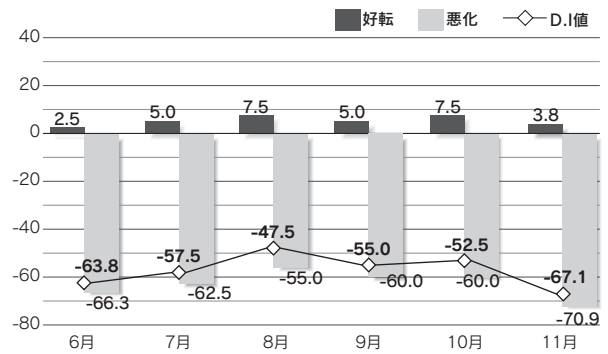
～家電や自動車販売以外は厳しい状況変わらず～

景気概況

11月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが3.8%(前月調査7.5%)、「悪化」が70.9%(同60.0%)で、業界全体のDI値は-67.1となり、前月調査と比較し14.6ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-71.9で前月調査(-53.1)に比べ18.8ポイント下回った。また、非製造業全体としてのDI値は-63.8で前月調査(-52.1)に比べ11.7ポイント下回った。
(回答数:79名 回答率:98.8%)

業界全体好転悪化割合 [前年同月比]



※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員	[天気図の見方] 前年同月比のDI値をもとに作成しています。
製造業	⚡	⚡	⚡	⚡	⚡	⚡	[凡例] ☀️ 快晴 30以上 ☀️ 晴れ 10以上 30未満 ☁️ 曇り △10以上 10未満 🌧️ 雨 △30超 △10未満 ⚡ 雷雨 △30以下
非製造業	⚡	⚡	⚡	⚡	⚡	☔	

業界の声

豆腐油揚製造	11月は比較的暖かい日が多く、鍋物などの需要が減り、売上は昨年と比べ大きく落ち込んだ。取引先スーパーの競争も激しく、価格も乱れてきている。
清酒製造	10月分の清酒出荷量は1,796㎥で、前年同月比99.9%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で102.2%、純米酒が97.6%、本醸造酒が86.7%、レギュラー酒が102.1%という状況になっている。
パン製造	市場が冷え込んでおり、10月末から消費の悪化が止まらない。新型インフルエンザで休校・学級閉鎖が続出し、学校給食が中止になり大きな痛手となっている。
繊維・同製品	冬物の生産が一段落し追加生産も無い状況。また、春物生産にはまだ早く、生産の端境期となり稼働率が落ち込んでいる。国内の売上低下と、製造元が海外へ移行する状況が続いている。円高が進んでいる状況にあり、更に海外移行が加速される状況である。今後、受注、加工賃に影響が出ることは必至である。
木材・木製品	市況は相変わらず低調に推移している。住宅着工件数が過去にない低水準で推移しているため、建築用材は量、価格ともに落ち込んだままの状況が続いている。
セメント卸	前年同月比78.2%、計画対比95.6%で推移した。セメントの需要時期であるにもかかわらず低迷が続いており、今後、冬場を迎え厳しい状況にある。
自動車販売	11月の新車販売台数は、登録自動車が2,507台(前年同月比170.8%)、軽自動車が1,757台(同103.7%)で、合計4,264台(同134.8%)であった。登録自動車は5カ月連続して前年同月を上回った。補助金・エコカー減税の効果と思われる。
電機販売	エコポイントの効用でテレビ関連は順調に推移している。しかし、ボーナス商戦を前に、期待以上の結果は感じていない。エコポイントの延長もあり得るとの発言もあり、消費者の購買意識が減速した感がある。
石油製品	ガソリン1ℓ当たり124円で前月比1円の引き下げ、軽油は1ℓ当たり103円で前月と変わらず、灯油(配達込み)は18ℓ宅配で1,256円で前月比5円の引き上げとなった。マージン低下や需要減退が長期化し、難しい経営環境が続いている。
商店街	需要の低迷が続き、不況ムードで推移している。一般消費者の買い控えと、魅力のある店舗が少ないことによる商店街の集客力不足から、商売は厳しい状況にある。[秋田市] 12月に中心四商店街合同の歳末大売り出しを企画しており、参加店を募ったが、参加店数は前年の7割である。企画に魅力が無いのか、或いは資金の窮迫によるものかは分からない。[湯沢市]
一般建築	補正予算の工事により仕事は多少増加しているが、低価格入札の競争が続いており、収益状況は良くない。